

みずほCustomer Desk Report 2018/10/26 号(As of 2018/10/25)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.02
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	112.00	1.1400	127.69	1.2888	0.7064
SYD-NY High	112.67	1.1433	128.43	1.2919	0.7099
SYD-NY Low	111.82	1.1357	127.50	1.2795	0.7056
NY 5:00 PM	112.39	1.1375	127.85	1.2818	0.7079
NY DOW	24,984.55	401.13	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,318.34	209.94	日本10年債	0.1100	▲2.00bp
S&P	2,705.57	49.47	米国2年債	2.8507	1.01bp
日経平均	21,268.73	▲822.45	米国5年債	2.9673	2.06bp
TOPIX	1,600.92	▲51.15	米国10年債	3.1253	1.52bp
シカゴ日経先物	21,590.00	160.00	独10年債	0.3970	0.35bp
ロンドンFT	7,004.10	41.12	英10年債	1.4410	▲1.40bp
DAX	11,307.12	115.49	豪10年債	2.6150	▲5.35bp
ハンセン指数	24,994.46	▲255.32	USDJPY 1M Vol	6.80	▲0.20%
上海総合	2,603.80	0.50	USDJPY 3M Vol	7.25	▲0.10%
NY金	1,232.40	1.30	USDJPY 6M Vol	7.74	▲0.07%
WTI	67.33	0.51	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	194.79	0.32	EURJPY 3M Vol	9.30	▲0.05%
ドルインデックス	96.68	0.25	EURJPY 6M Vol	9.65	▲0.04%

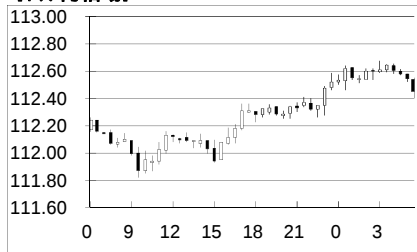
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月25日	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	10月 102.8/99.8/105.9	103.2/100.4/106.0
	20:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	9月 0.8%	-1.5%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	9月 0.1%	0.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215K	215K
	23:00	米 中古住宅販売契約(前月比)	9月 0.5%	0.0%

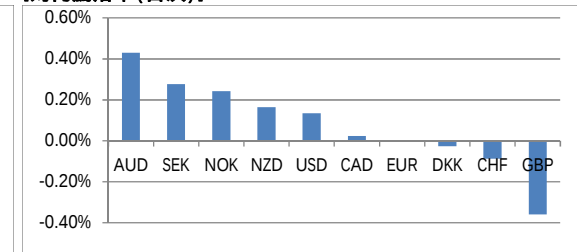
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月26日	10:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q 3.3%	4.2%
	21:30	米 個人消費	3Q 3.3%	3.8%
	21:30	米 7PCE(前期比)	3Q 1.8%	2.1%
	23:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	10月 99.0	99.0
	23:15	欧 クレーECB専務理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.70-112.70	1.1330-1.1430	127.30-128.30

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間でのドル円相場は底堅く推移した。日経平均は大幅安で引けたものの、イタリア債安定、前日比マイナスイナス圏でスタートした欧州株が下げ幅縮小となると、ドル円は112.30台まで上昇。北米時間には、米株反発を横目に一時、112.67円まで続伸するも、米株が上昇幅を削る流れに112.50円割れへと押し戻された。本日のドル円相場は方向感の出ない展開を予想する。ここ数日のドル円は株価を眺めながらの上下になっているが、米中間選挙を前にポジションを傾けづらい面もあり、手掛かり材料探しの相場付きを予想する。

東京	東京時間のドル円は112.00レベルでオープン。前日海外時間の米株下落の流れを引き継ぎ日経平均株価が700円超下落する展開となると、リスク回避の円買いが進行し一時111.82まで下落。仲値にかけては五・十日にあたる事もあり、実需勢のドル買いロー等から112円台を回復するもすぐに111円台後半まで反落。その後は株価が下げ止まったこともあり、ドル円は112円台前半まで戻すも、株価の動向に対する警戒感が拭いきれない中では上値も重く、112.08レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.08レベルでオープン。欧州株が比較的堅調に推移したこともあり円買いに巻き戻しがみられた。米長期金利も欧州時間は上昇し、ドル円は112.37まで上昇し112.33レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1415レベルでオープン。ECB理事会を控える中で小動き。独10月IFO指数が予想を下回ると1.1395まで売られたもののすぐに買い戻され反応は一時的。ECB理事会を迎えるが、予想通りの結果に反応は限定的で結局1.1413レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2910レベルでオープン。目だった新規材料がなかったこともあり1.2885-1.2919のレンジ内推移となり1.2895レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は112.33レベルでNYオープン。朝方発表された米9月耐久財受注が市場予想に反して増加となったが、ドル円の反応は限定的だった。しかし、ECB理事会後のドラギECB総裁のハパ的な発言に対ユーロドル買いが強まったことや米株の堅調推移を受けて、112.67まで上昇。前日高値を目前に、新規材料難や米金利の低下を受けて反落し、結局、112.39レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1413でNYオープン。ECB理事会の金融政策発表は現行政策の維持が発表され、予想通りの内容だったことからユーロの買い戻しが進み一時1.1433まで上昇するが、発表後の会見でドラギECB総裁の「入ってくる情報(経済指標)は予想よりも多少弱い」との発言が伝わったことからユーロ売りが強まり、再び1.1400を割り込み1.1371まで反落。その後も手掛かり材料難の中、イタ予算問題や合意なき7ヶ国シットへの懸念を背景に、1.1357まで下値を広げる。終盤にかけてユーロ売りが一服したことから1.1376まで戻し、そのまま1.1375レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山本・森谷